令和4年度　第1回　居宅介護支援部会　管理者情報交換会報告

日時：令和4年7月13日（水）16時～　　　　　　　場所： 筑前梨ノ木城　3階

全18事業所中13事業所の出席

1. 各事業所自己紹介及び従業者一覧の確認

　　居宅事業所従業者名簿を配布し、7月13日時点での各居宅における

人数と氏名を確認し、修正加筆を行う。

1. アンケート結果について

　　事前にアンケートを配布回収した内容に対して意見交換を行う。

・コロナ禍でのアセスメント、モニタリング、訪問調査の実施状況について

→以前に比べて、調査を受ける利用者が多くなってきたが、コロナ感染を

心配され調査を拒否される利用者家族は、延長更新で対応している。

モニタリングやサービス担当者会議も、利用者家族の意向に沿って

対応している。

・コロナ禍でショートステイの確保が困難になった

→朝老園ひさみつ、朝倉苑、愛光園、きらく荘はショート空室あり。

・ロングショート利用時の認定有効期間半数越えでの書類提出について。

→保険者によって、必要書類の提出や対応が異なっている。

・研修や会議をズームなどのオンラインでしてほしい

　　→基本対面が良いが、今後の感染状況によっては、事業所ではなく法人全体で対応となる為、オンラインが望ましい。

・集団指導については、内容も膨大で多岐にわたる為、各事業所で内容確認中。

・制度改定に伴い、ICT化を行う必要があるが費用も掛かる為、タブレット等

活用している事業所はない。

1. 今年度の活動について

・管理者情報交換会をあと2回予定。

次回は10月か12月の予定、メールで日程調整を行う

・研修会は、褥瘡予防研究会、福祉用具部会と協働し、感染症対策を行い

人数制限をしながら開催予定。

1. その他

・本年度より、地域ケア推進会議に居宅介護支援部会から委員として出席依頼あり。年2～3回の予定、今後は居宅部会の副部会長が出席する。

・ケアマネージャー人員確保について、募集をしても応募がない。

法人内で検討しても、現場職員であれば処遇改善加算等が無くなり、所得が減少する為、確保が難しい現状。求人情報からの募集より、知人の紹介や実務研修から入職するケースがある。

・独居で支援者不在の利用者で、認知機能低下から事務手続きが困難なケースが増えている。

　・社会資源の不足（ヘルパー事業所の減少、ボランティア不足、介護タクシーの事業所がない）